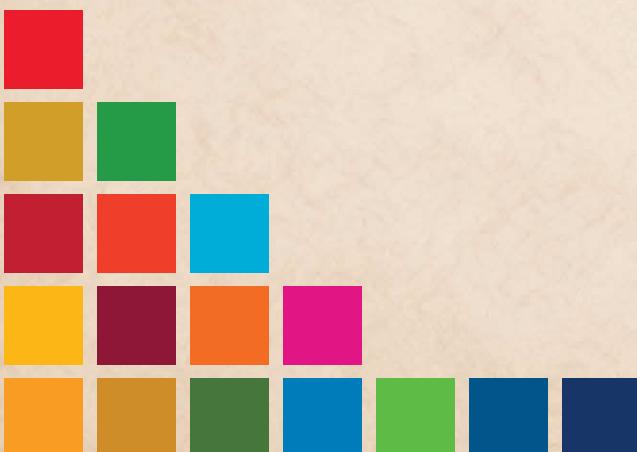




**Zero Carbon
Challenge Cup
2021**



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



近年の気象の激変や災害の頻発などの状況を踏まえ、気候変動対策をより加速化するために、昨年度に「低炭素杯」から名称を改め、第2回目となる「脱炭素チャレンジカップ 2021」を2月に開催いたしました。

この度は、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、参加者およびスタッフの健康・安全面を考慮し、新たな形としまして、オンラインでの開催となりました。

本大会は、多種多様な団体（学校、企業、自治体、NPOなど）が日々取り組まれている脱炭素社会の構築につながる活動を募集し、最終選考で自身の活動を発表することによって、取組のノウハウや情報を共有・発信し、さらなる連携や意欲を創出することで、豊かな脱炭素社会の未来を創造する「場」となることを目指しています。

「脱炭素チャレンジカップ 2021」では、ダイレクトエントリーと地域大会（4地域大会）の計144団体の中から選ばれた28団体がステージ上のプレゼンテーション審査に臨まれ、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を決定いたしました。

開催にあたっては本事業に賛同していただいた企業・団体の皆様からのご支援・ご協力をいただきました。

SDGs達成に向けて貢献



「脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。」

世界で気候変動問題が年々深刻化する中、「パリ協定」に基づき、世界の平均気温の上昇を産業革命前の2°C未満に抑え、脱炭素社会を構築することを我々は目指しています。

日本においても脱炭素社会の実現に向けて、社会全体での機運の醸成や効果的な対策への取組を強力に進めていく必要があります。

そのような状況の中、「脱炭素チャレンジカップ」では、様々なパートナーと出会える「場」を提供することによって、地域活動の活性化とネットワークの構築が促進され、あらゆる主体の連携が深まり、脱炭素かつ持続可能な地域づくりへの加速化が図られることを期待しています。

脱炭素チャレンジカップ SDGs 貢献 概要

キーワード
Think Globally Act Locally
地域の取組を、世界に発信

世代を超えて!
2030年の達成を目指す!



①地域センターの参加による全国展開

地域センターのネットワークで地域活動の掘り起し
(他アワードとの差別化)
↓
オール日本の取組を紹介・発信

②地域の脱炭素取組モデル発信

再エネや省エネの取組
最新技術や地域活動を共有!
↓
脱炭素による生活の質の向上と地域活性化

③企業との連携

企業のニーズと地域のシーズをマッチング・出会いの場づくり
↓
地域の担い手づくりによる課題解決

課題1 情報の発信：デザイン・ネットワーク・用途の明確化

課題2 参加のプラスα：満足度の向上・価値の向上と共有化